

移動困難者の 投票支援は

必要に応じて柔軟に対応を
検討していく

問 移動投票所の運用は。

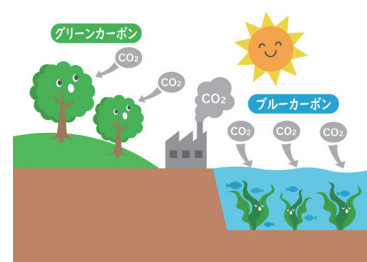
答 本町でも、免許を返納された高齢者の方から「投票所が遠くなり、行きづらくなった」との声が寄せられており、こうしたご意見には真摯に耳を傾けていく必要があると考えている。

問 投票所への無料送迎タクシー制度は。

答 「無料」であることが公平性や持続性の観点で課題となる場合がある。既に導入済みの選挙管理委員会では利用率が低く、所期の効果に至っていないとの声も耳にしている。



影岡 俊範
議員



ブルーカーボンの取組は

その実現に向けて、
着実に進めていく

問 本町のブルーカーボンの可能性は。

答 本町としても、ブルーカーボンの取組が実現できるかを検討する価値があると考えている。

ブルーカーボンは、カーボンニュートラルと地域活性化の両立を図る上で、本町らしい可能性を秘めた分野である。今後、その実現に向けて、まずは情報収集や関係機関との意見交換から着実に進めていく。

実現の可能性を調査の上、本町らしいSDGsの取組のひとつとして注力していただきたい。

住まいの終活セミナー の今後は

各所でセミナーを予定

問 自宅を空家にしないためのセミナーが北伊予地区で開催されたが、今後の予定は。

答 松前地区は7月5日に、岡田地区は12月に開催予定。広報まさきへの掲載や町ホームページお知らせ欄への掲載、LINEアカウントでの告知のほか、自治会とも連携して告知していく。

問 セミナーの内容は。

答 北伊予地区でのセミナーで住民が自宅を将来空家にしないために何をすべきかを主体的に考えるきっかけになった。このことを受け、今後のセミナーでは、相続、リフォームや解体、空家の福祉活用といった具体的テーマを取り扱い、より実践的な参加



池内 邦仁
議員



加型の内容に発展させたい。
また、10月には、まさき文化祭において、空家相談会を予定。

笑顔で暮らせる 健康づくりの実現は

地域福祉計画を策定

問 福祉事業の新たなサービスは。

答 今年度、地域福祉計画の策定を行い、町民の皆さんの声をしっかりと反映させていく。今後、地域課題に即した新たなサービスの必要性が明確になった場合には、社会福祉協議会とも連携を図るなどして検討する。

空家実態調査の結果解析、地域福祉計画の策定など、将来を見据えた計画の策定を。